

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市東九条老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

【施設の概要】	
○営業日	月～土曜日（但し、日曜日と12月31日～1月3日は休業日）
○営業時間	午前8時30分～午後5時30分
○サービス提供時間	午前9時～午後5時
○1日の利用定員	32名
【管理運営概要】	
○新人研修・中堅職員・管理者に対しての内部研修の実施	
○職種に応じた外部研修受講と内部にて伝達研修の実施	
○パンフレット配布や機関紙（月1回）発行による広報活動	
○自主点検表を活用して（年1回）基準に即しているか点検、確認、見直しを行う。	
○利用者アンケート（年1回）の実施	
○施設内各種委員会への出席、各職員への伝達・周知	
○朝礼終礼ミーティングや業務日誌を活用しての職員間の情報共有	
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容	

2 事業実施内容

上記、業務内容を基本として事業を実施
○個々の援助内容においてケアプランに基づき目標達成に向けての支援の実施
○個々の意向に沿うようにレクリエーションの実施
○社会性の維持の為、近隣住民や顔なじみの方との交流機会の提供実施
○機能訓練を目的とした外出や生活リハビリを兼ねた料理レクリエーションの実施
○施設内で夏祭りやクリスマスといった季節感のある行事の実施
※新型コロナウイルスを考慮し、外部との直接的交流は中止或いは規模を縮小し実施。
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容
（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

管理者1名（兼）
生活相談員3名（兼） 機能訓練指導員4名（常勤1名、非常勤3名）
看護師3名（専従2名 兼務1名） 介護職員8名（内非常勤1名） 事務員1名
調理員：業務委託
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・特殊設備等の保守管理以外は市内中小企業を活用した。
・市内中小企業に優先して発注するよう努めた。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 実利用者数（実績値）

人

(2) 延べ利用者数（実績値）

件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況（単位：円）

介護保険収入	52,942,382
利用料収入	3,433,326
委託料収入	0
補助金収入	250,656
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	0
収入計	56,626,364

イ 令和4年度支出状況（単位：円）

人件費	46,592,250
事業費	9,101,088
委託費	4,166,690
小額修繕費	97,410
その他	5,331,099
支出計	65,288,537

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

利用者アンケート（令和4年6月実施）
サービスについて無記名にて3段階又は5段階評価、意見・要望欄あり
設問数15問 回収回答数 30名

(2) 利用者満足度把握の結果

設問項目 15問は以下の通り、
・職員のマナー・接遇などの姿勢
・サービス提供についての満足度
・食事やおやつへの満足度
・連絡帳や広報誌についての満足度

職員の姿勢や言葉遣いの丁寧さについては、85%以上で高評価をいただいている。
食事についても「普通」以上の評価が91%をいただくが、おやつについてはそれぞれのご利用者様の嗜好もあり、「普通」以上の評価が67%。お一人暮らし世帯の方のご利用が多い中でたくさんの方と賑やかに食事をする機会を楽しみにいただいている。

コロナ禍でレクリエーションにも感染対策を講じる必要があり、みんなでワイワイと一緒に行うスポーツレクや外出レクなどは引き続き行いにくい状況だが、外出レクやカラオケを希望する声は多く、外出レクは年度後半になり少しずつ再開。

その他ご意見・ご要望欄あり（一部抜粋）

○男性トイレの奥の個室の鍵が硬い。 ○危険な場所（躓きやすい場所など）がないかチェックしていただき、安全に過ごしてもらいたい。○室内が寒い。○このアンケートの回答を公表してほしい。

(3) 意見等への主な対応状況

○男性トイレの鍵は交換を行った。
○躓きやすい場所の有無については、定期的にチェックを行なっている。
○アンケートの回答についてはデイサービスの廊下に掲示し、皆様に見ていただけるようにしている。
○感染対策として換気を定期的に行っているため、お席の配置などの工夫を行なっている。

7 その他特記事項

(1)

おすそ分けの庭（ノガミツガーデン）を継続して整備している。また、ノガミツガーデンでは畑やプランターでご利用者と共に花や野菜作りを行い、収穫した野菜をつかって料理レクリエーションを実施。

(2)

施設近隣のご利用者が多く、細かな家人の要望に応えることができる。また、九条診療所・内浜診療所・波柴医院・永谷クリニック等の地域医療との連携を重視している。

8 評価（指定管理者自己評価）

○感染対策の徹底を主眼に置き、デイのご利用者、職員の感染による休業を行わずに年度を終えることができた。

○月1回のデイ機関紙の配布により広報活動を常時行うことが出来た。パンフレットの配布等、関係する事業所に対して行った。

○見学、お試し利用の申し込みは随時受け入れを行っている。

○法人内研修、デイ内部研修、伝達研修を行うことにより職員全体のスキルアップを図っている。

○障害を理由とする差別の解消に向けた職員研修により理解を深めた。

○キャリアパス制度により各職員が1年ごとの目標を明確に立てることが出来た。また、半年で1度見直すことにより出来ていない部分への修正を図り、学習、実行できるようになっている。

○特養併設など、中重度のご利用者様からの申込が多く、入退院の繰り返しや在宅生活を望んでいるとしても継続が難しいといった理由による中止で他サービスへの移行も多くあった。

○新型コロナウイルスの影響により、地域で行われていた催し物の中止が相次ぐ中、自宅に閉じこもりがちになっている高齢者に対してデイサービスにおけるレクリエーション活動の要望や需要が高くなっている。

○これからもご利用者様の意見や感想に耳を傾けて、自立を尊重し職員一人一人が小さなことでも何ができるかを考えていく。